

山内ひろお プロフィール

(少年時代) 私の生まれ育った故郷は、橋木の田舎町。小・中学校時代は、毎日山で遊び、昆虫を追い、那珂川で釣りばかりして過ごしました。当時は身体も大きく、いわゆる『ガキ大将』でした。



(高校時代) 坊主頭のやたら真面目な文学青年でした。が、男子校の厳しい規律と教師のパワーに圧倒されながらも、時に反抗したりと、多感な思春期を過ごしました。



《山内ファミリーの紹介》

- 妻・ゆき (55歳) 学校職員、夫の最良のパートナー。
- 長男・一典 (32歳) 総務省・コンピュータ・インテグレーション事務局
ゲーム制作者、代表作『GT』
- 次女・ゆき (30歳) 長男には出来すぎたお嬢さん。
- 次男・直史 (31歳) トイ・インダストリー(株)勤務
商品開発。
- 早苗 (24歳) 次男にも出来すぎたお嬢さん。
- 三男・隆弘 (27歳) 歯科医師。
- 長女・薫 (24歳) 公務員。
- 愛犬・くわ (9歳) シーズー犬。オス。花嫁募集中。
- 愛犬・おんディ (2歳) ラブポンド。メス。箱入り娘。



恒例の昆虫教室

(大学時代) 一年間の猛勉強で、憧れの早稲田に入り上京。勉学のかたわら、サークル活動に励み、登山・旅行・アルバイト等を経験し、思えば我が人生の糧となる、生涯最良の時代でした。

(独立) 昭和41年 柏にて独立、結婚。30歳で3男1女の父となる。振り返れば、子供がかわいいばかりの平和な時代であったように思います。

(学習塾開校) 我が子の将来を考えるうちに教育というものに目覚め、30歳の時に学習塾『北斗学院』を設立。学力の向上をはかるとともに、毎年、キャンプや島旅行などを実施して、情操教育を目指しました。親子共々、素直で楽しい塾経営が出来たと思っております。



豊四季祭りにて

(親子会活動) 父母と子供が一体となる行事を行ってまいりました。畑を借り、芋の苗を植え、収穫までの世話をした芋掘りや、街のゴミ拾い、キャンプでの飯盒炊飯・カレー作り、500人以上参加した秋の運動会では大量の豚汁を作り、親子で汗を流しました。

(PTA活動) 柏第二小学校の百周年は、記念誌の発行と、柏全市からの来賓が集った盛大な式典となりました。フェスティバルでは、校庭に入りきれない程の人波で溢れ、地域の多くの人々と団結して成し遂げた、思い出深い楽しい出来事でした。また、豊四季中学校の開校では校歌・校章・制服の決定をはじめ、校則やPTAの組織づくりなどを行うことが出来、子供たちの歌う校歌を聞いた時には、深い感慨を覚えました。

地域に対する、そして市政への抱負

■市民のための公営スポーツ施設

都市化が進む柏市、昔のように、簡単にからだを動かす場所がありません。だから市民が低料金で楽しめるスポーツ施設やゲートボール場を作りたいのです。

■大型車の通行規制で安全な街づくり

市民生活のための道と、産業のための道を区別して、市民の生活道路に大型車が通行することを規制すれば交通渋滞、騒音、排気ガスが減り、子供たちが健康で安全に通学できる街になると思います。

■心を育てる教育

教育とは学校、家庭、地域社会が一つになって行うもの。どれか一つ欠けてもうまく機能しません。教育者の一人として、柏市の教育環境を日本のレベルにしたいと思っています。

■お母さんのための託児保育施設

現代は働くお母さんの時代です。駅やバス停の近くに公営の託児保育施設を造れば、お母さんの負担を少しは軽くできるのではないのでしょうか。育児と仕事は2つセットで考えなければならないと思っています。